

5月1日時点の就職活動調査

企業の採用広報解禁から2カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるのだろうか。5月1日現在の日経就職ナビ・学生モニターの就職活動状況について調査を行い、昨年度の解禁2カ月後にあたる2014年2月調査との比較や、先月(4月)調査と比較するなどして、特徴を分析した。

1. エントリー状況

○一人あたりのエントリー社数の平均は50.8社。4月からの伸びは6.1社にとどまる

2. セミナー・会社説明会への参加状況

○「企業単独開催のもの」への平均参加社数は14.2社。前年度より早いペースで参加

3. エントリーシートの提出状況

○エントリーシート提出者は91.8%。提出社数の平均は8.1社。4月より大きく増加

4. 選考試験の受験状況

○筆記試験受験者89.0%、面接試験受験者77.0%。先月調査から急上昇

5. 選考試験の受験社数の推移

○筆記試験受験社数5.3社、面接試験受験社数3.4社。社数の伸びは緩やか

6. 5月1日現在の内定状況

○内定率は17.9%。4月(7.1%)より10.8ポイント増

○内定業界は「情報処理・ソフトウェア」「建設・住宅・不動産」「調査・コンサル」の順

7. 内定保持学生の動向

○「内定企業よりも大きい企業中心」が63.2%。4月(57.0%)より増加

○内定企業の位置づけは、「この企業に入る」9.0%。「あくまで押さえ」19.7%

8. 就職活動の難易度

○「厳しい」との見方は毎月低下。当初の予想よりも楽観的な見方が広がっている

9. 業界へのこだわり度合い

○「絶対に行きたい業界が1つある」30.3%

○現時点で「1つの業界に絞り込んでいる」学生が過半数(57.4%)

《調査概要》

調査対象：2016年3月卒業予定の全国の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
 回答数：1,549人(文系男子534人、文系女子438人、理系男子402人、理系女子175人)
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2015年5月1日～6日
 サンプル：日経就職ナビ2016就職活動モニター

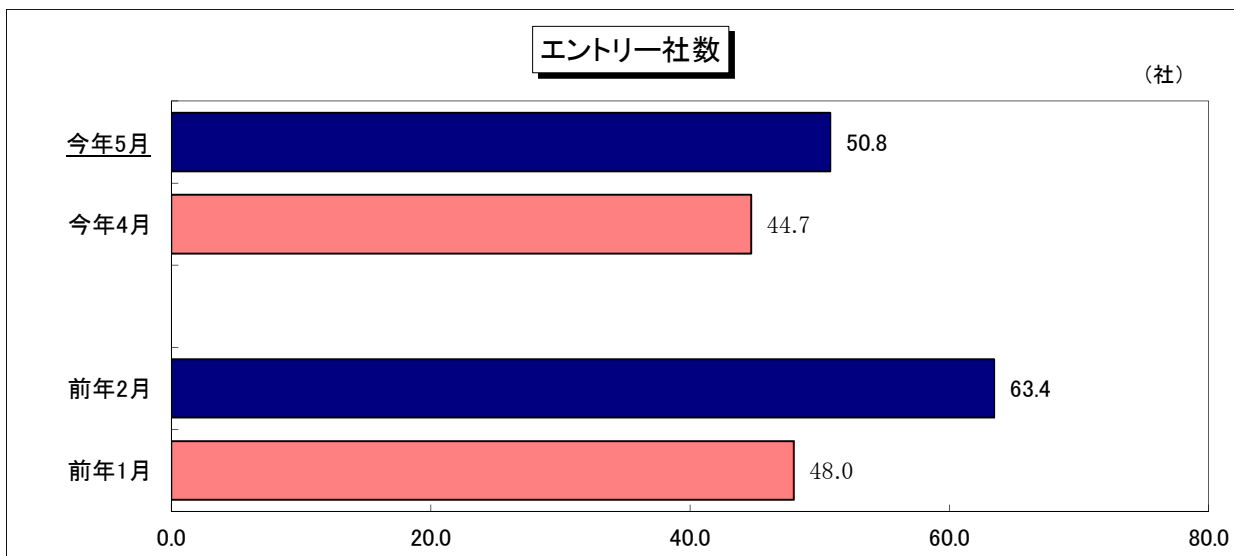
◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505/株式会社ディスコ キャリアリサーチ

「日経就職ナビ 就職活動モニター調査」は、株式会社日経HRと株式会社ディスコが大学生の就職活動状況を調査することを目的として実施しています。
 日経就職ナビは日本経済新聞社が主管し、株式会社日経HRが企画・管理を担当し、株式会社ディスコが運営事務局を務めています。

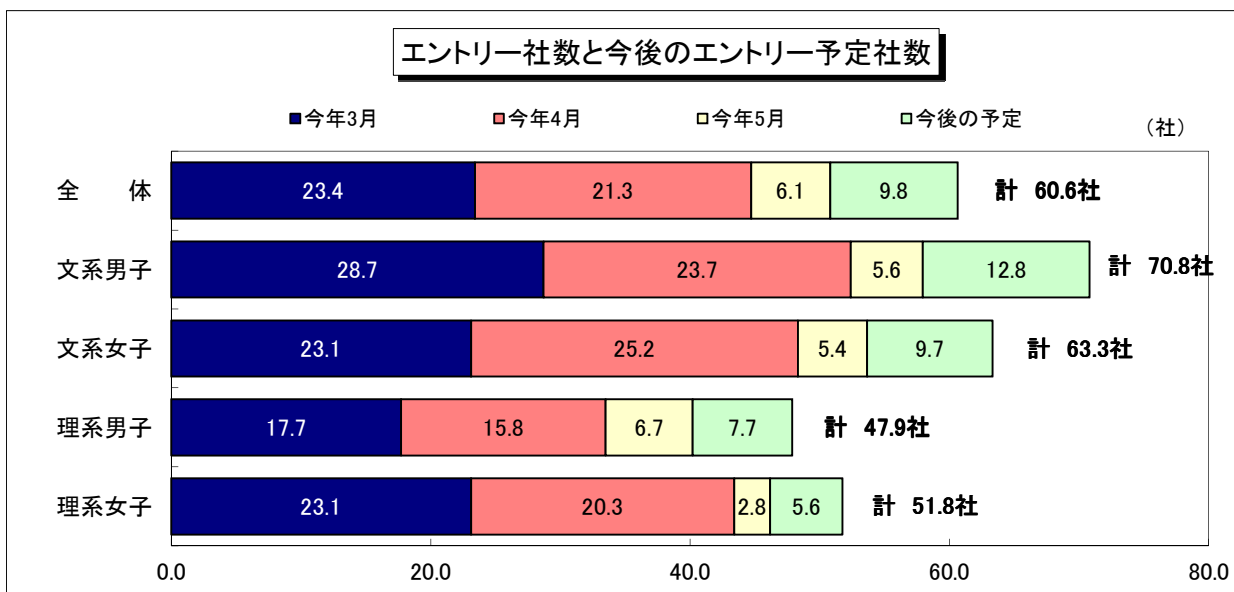
1. エントリー状況

採用広報が解禁となって2カ月が経過した時点での2016年卒者の就職活動は、どのように展開しているだろうか。前回調査（今年4月）および昨年度の解禁2カ月後（前年2月）との比較を中心に、全体的な活動状況を確認してみたい。

まず、現時点でのエントリー社数であるが、平均で50.8社であり、これは先月（今年4月）時点の44.7社からわずか6社程度の増加にとどまった。3月から4月にかけては20社以上増加していたので、大きく鈍化している。これを、昨年度の解禁2カ月後（前年2月）の数値と比較してみると、昨年度は63.4社であったので、これと比べても非常に低い水準である。企業による選考活動が本格化していない状況下であって、学生の志望視野が十分に広がっていないことが推察される。



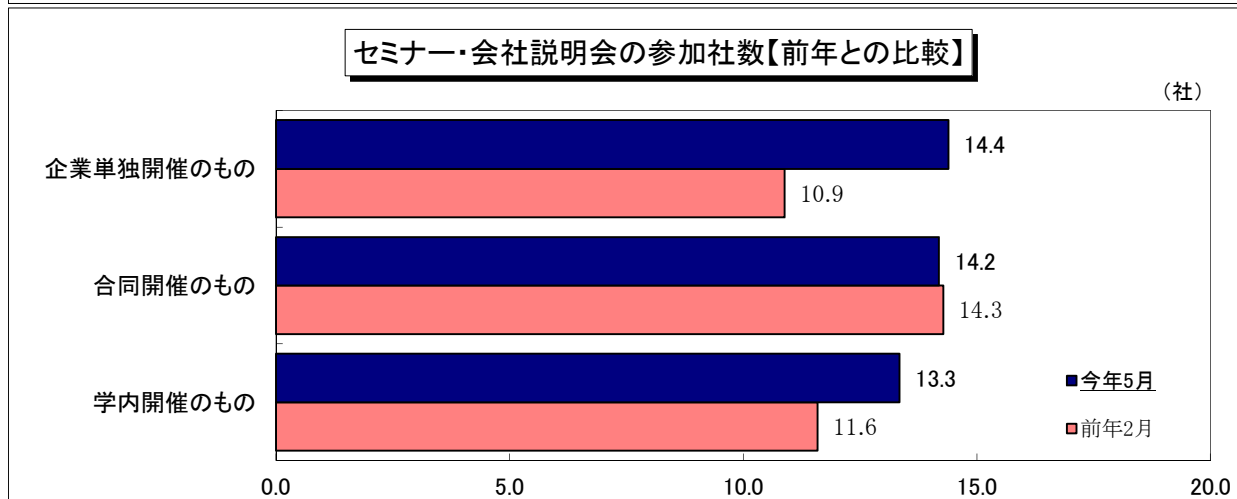
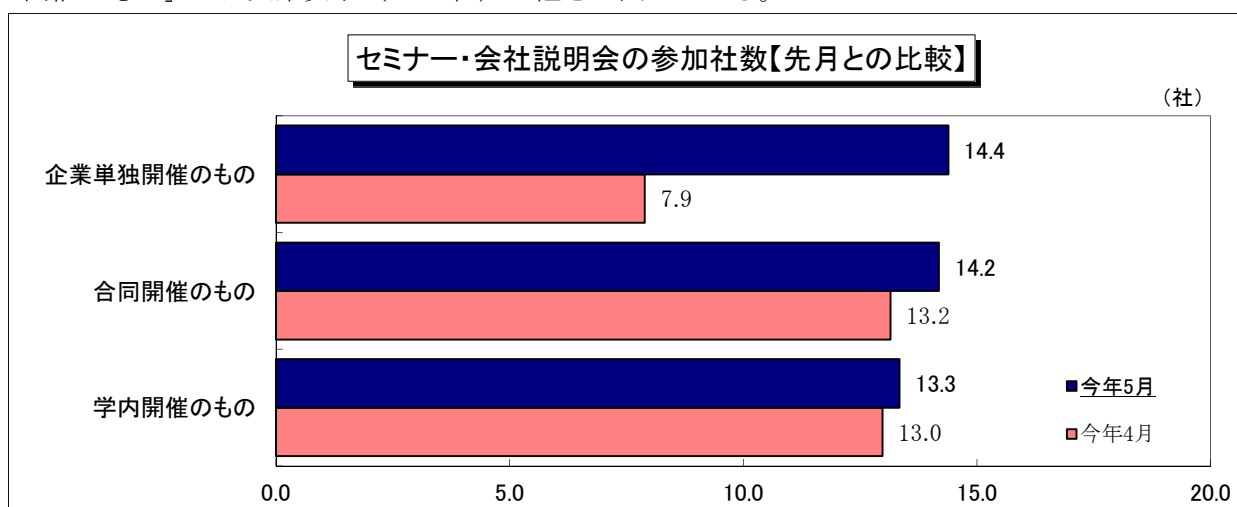
エントリー社数を今後どのくらい増やす予定かを尋ねたところ、平均で 9.8 社であった。現時点でのエントリー社数（50.8 社）にこれを加えるとトータルで 60.6 社となるが、これは例年の最終的なエントリー社数（約 90 社）と比べるとまだ少ない。現時点で考えている志望企業の範囲内で、なるべく就職先を決定したいと思っている学生が多いのだろう。文理男女別の比較では、文系男子がトータルで 70.8 社と最も多く、理系男子が 47.9 社で最も少ない。



2. セミナー・会社説明会への参加状況

次に、セミナー・会社説明会への参加社数を見てみる。「企業単独開催のもの」は 14.4 社、「合同開催のもの」は 14.2 社、「学内開催のもの」は 13.3 社で、これらを合計すると 41.9 社となった。前回調査（今年 4 月）と比較すると、「企業単独開催のもの」が大きく伸びていることがわかる。また、昨年度の解禁 2 カ月後（前年 2 月）の数値と比較してみると、合計社数は 36.8 社なので約 5 社上回っている。前述した「エントリー社数」においては、昨年度よりも志望企業群が絞り込まれていたが、実際に参加したセミナー・会社説明会の数は、今年度の方が多くなっている。エントリーする企業を増やしていくよりも、エントリーした企業をセミナーや会社説明会の場でより詳しく知ろうとする学生の行動意識が見てとれる。

これを文理男女別に比較すると、「企業単独開催のもの」は文系男子（17.0 社）で多く、「合同開催のもの」では文系女子（17.3 社）が他を上回っている。



セミナー・会社説明会の参加社数

(社)

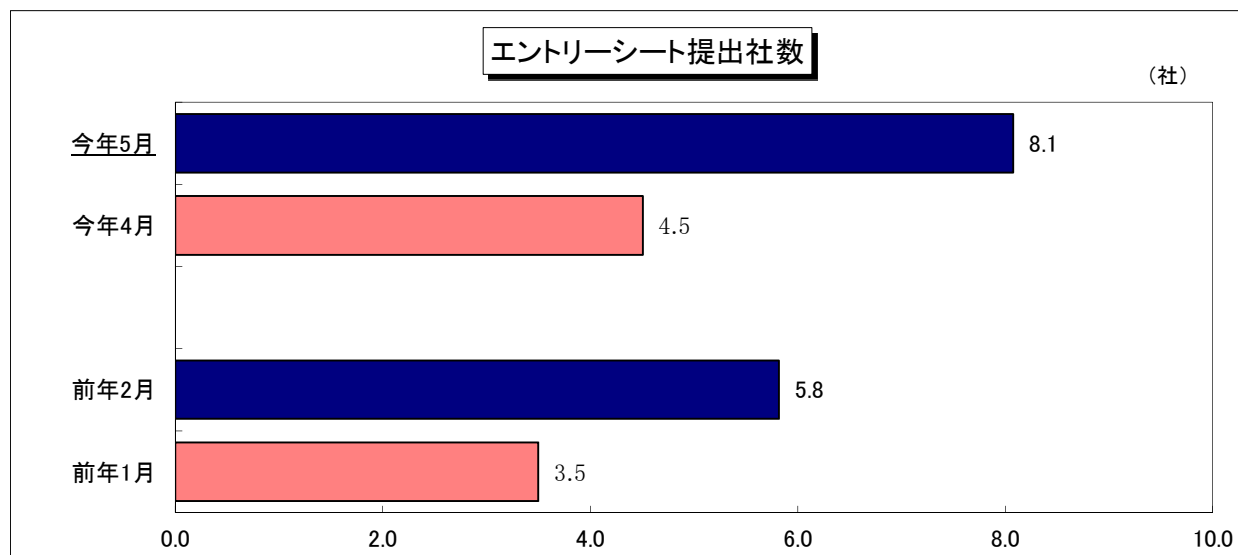
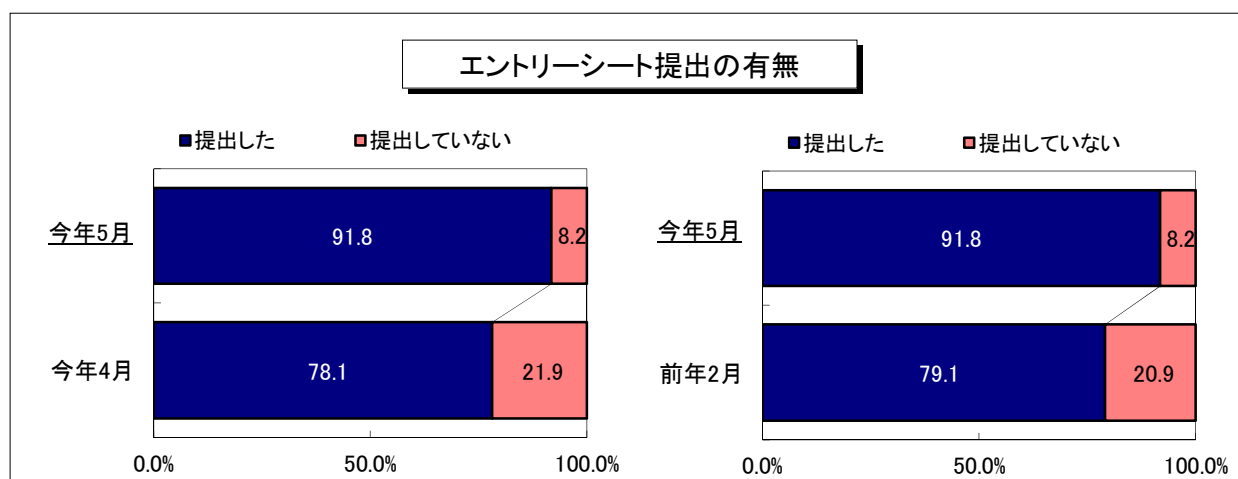
	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
企業単独開催のもの	14.4	17.0	15.1	10.8	12.8
合同開催のもの	14.2	14.7	17.3	11.3	11.3
学内開催のもの	13.3	13.9	14.3	12.3	11.4
合計	41.9	45.7	46.7	34.5	35.5

3. エントリーシートの提出状況

エントリーシートの提出状況を尋ねてみたところ、エントリーシートを提出した割合は、前回調査（今年 4 月）の 78.1%から 91.8%へと伸びた。また、昨年度と比較すると、解禁後 2 カ月の時点（前年 2 月）で 79.1%だった提出率は、今年は 10 ポイント以上増加している。

エントリーシートを提出した社数を見ると、前回調査（今年 4 月）の 4.5 社から 8.1 社に大きく伸びた。これは、昨年度（前年 1 月から 2 月の推移）の 3.5 社から 5.8 社への伸びよりも大きく、例年よりもハイペースで学生の活動が進んでいる様子が見てとれる。トータルのエントリー社数は昨年度よりも少ないが、その中で中身の濃い就職活動を展開しているというのが、今年度の学生の特徴と言えるだろう。

エントリーシート提出状況を、文理男女別に比較してみたところ、提出した割合にそれほど大きな違いはないが、エントリーシート提出社数では理系女子が 10.6 社と他を大きく上回っている。

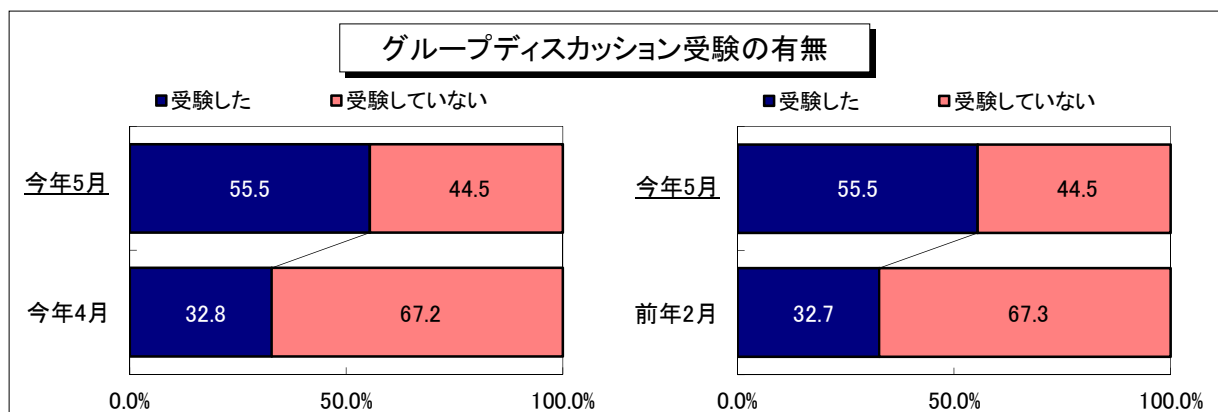
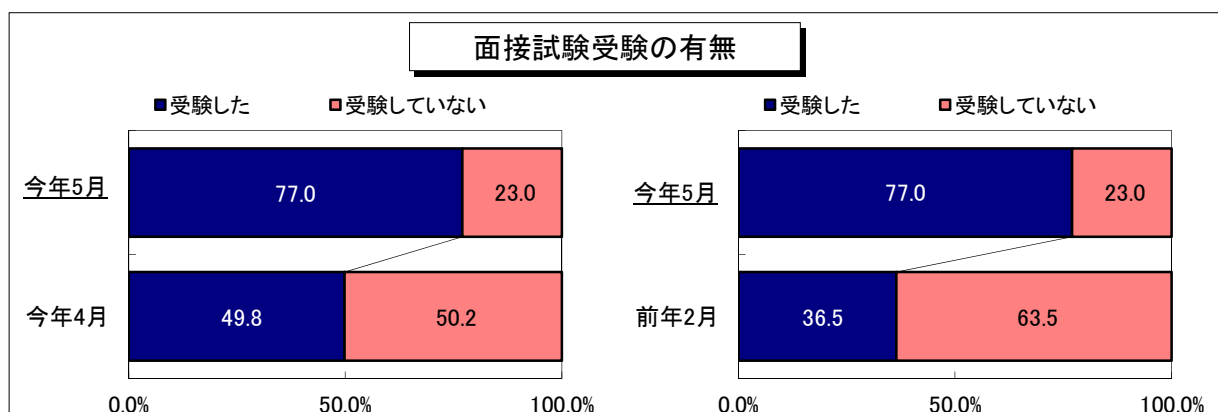
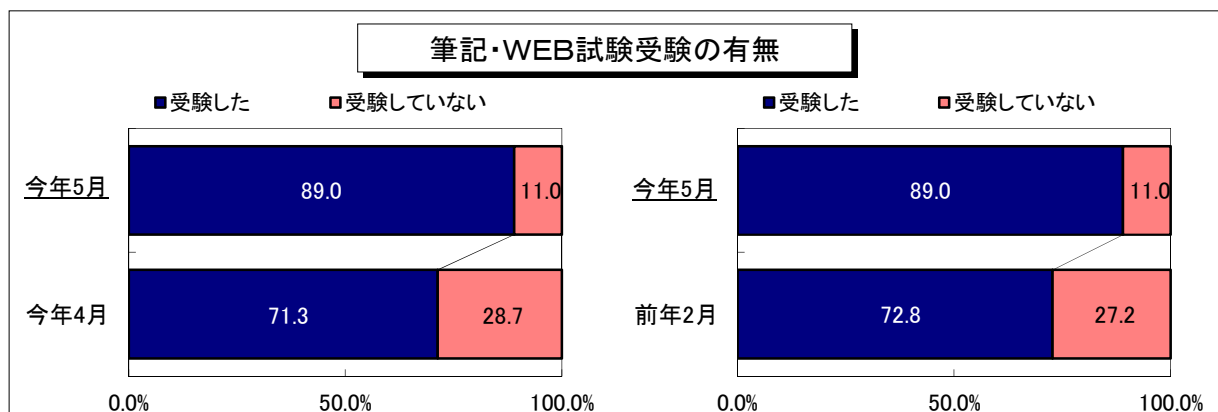


エントリーシートの提出状況

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
提出した割合	91.8%	92.7%	93.2%	88.3%	93.7%
提出社数/平均	8.1社	7.8社	7.9社	7.4社	10.6社

4. 選考試験の受験状況

次に、選考試験の受験状況（受験率）を見てみる。「筆記・WEB 試験」は 89.0%で、昨年度（前年 2 月）の 72.8%に比べ大きく上昇した。また、経団連における指針では 8 月 1 日からとされている「面接試験」は現時点で 77.0%が受験しており、前回調査（今年 4 月）の 49.8%から急上昇した。昨年度の解禁 2 カ月後（前年 2 月）においては 36.5%だったので、受験率だけ見ると今年度の就職戦線は、かなり早いペースで進行しているように見える。「グループディスカッション」は現時点で 55.5%と、昨年度（前年 2 月）より 20 ポイント以上増加している。



選考試験の受験状況

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
筆記・WEB試験を受験した	89.0	89.0	89.7	86.6	92.6
面接試験を受験した	77.0	75.8	75.8	78.1	81.1
グループディスカッションを受験した	55.5	59.2	55.7	49.3	57.7

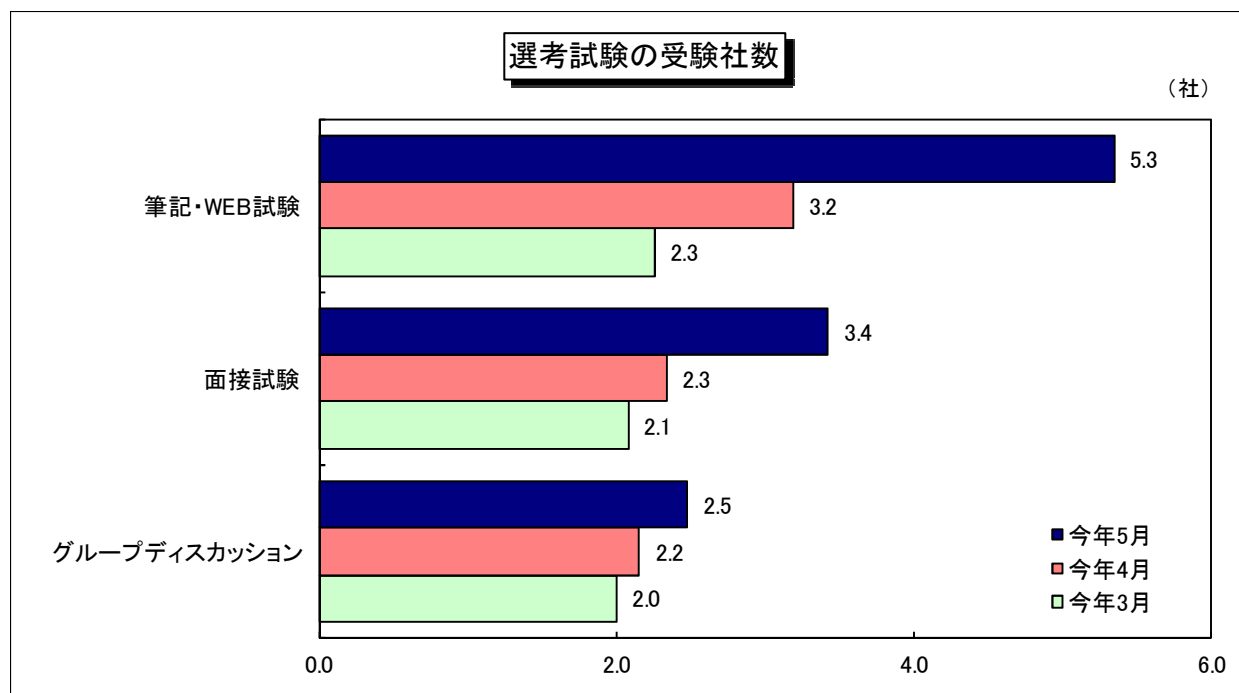
(%)

5. 選考試験の受験社数の推移

前述したエントリーシート提出状況を含め、現時点で学生が企業の選考プロセスにどの程度突入しているか、その社数の推移を確認してみたい。

採用広報の解禁後 2 カ月の推移を見ると、受験率の急激な上昇に比べれば緩やかだが、選考試験の受験社数は確実に増えている。4 月から 5 月にかけて選考を開始した企業を着実に受けている様子が読み取れる。

ただ、エントリーのペースが現状のままだとすると、今後選考活動を行う企業が増えていくにつれて、進捗によっては持ち駒企業が早々に尽きる学生も出てくる懸念がある。



選考試験を受験した社数

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
筆記・WEB試験／平均	5.3 (3.7)	5.5 (3.6)	4.9 (3.6)	5.5 (3.7)	5.6 (4.0)
面接試験／平均	3.4 (2.2)	3.7 (2.6)	3.6 (2.0)	3.0 (2.0)	3.1 (1.5)
グループディスカッション／平均	2.5 (2.1)	2.5 (2.6)	2.5 (1.9)	2.5 (1.9)	2.3 (1.8)

※()内は 2014 年の同調査での 2 月 1 日現在の数値

6. 5月1日現在の内定状況

現時点で内定を得ている学生は17.9%で、前回調査(今年4月)の7.1%から1カ月で10ポイント以上増えた。しかし内定社数をみると、現時点で1.3社であり、前回調査(今年4月)の1.2社と同レベルである。前述した通り、一部の企業の選考が進んだ結果、内定者数は拡大しているが、その企業数(内定社数)そのものは増えていないという現象が起きている。現在選考中の企業数は、平均4.2社で、これらの企業がどのタイミングで内定を出すかが興味深い。

現時点で、学生がどういった業界から内定を得ているか、その上位ランキングを調べたところ、「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」(24.5%)、「建設・住宅・不動産」(14.4%)、「調査・コンサルタント」(13.4%)、「情報・インターネットサービス」(9.7%)、「コンビニエンス・GMSストア」(7.6%)が上位5業界であった。

5月1日現在の内定状況

*「内定」には、内々定を含む

		(%)				
		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定あり		17.9 (7.1)	16.9 (8.7)	16.0 (5.9)	19.9 (6.4)	21.1 (7.8)
内定なし		82.1 (92.9)	83.1 (91.3)	84.0 (94.1)	80.1 (93.6)	78.9 (92.2)
内定者のうち	就職先を決定し活動終了	14.8 (15.5)	7.8 (8.3)	10.0 (17.4)	20.0 (20.0)	29.7 (23.1)
	終了したが複数内定保持	4.0 (2.1)	3.3 (0.0)	7.1 (0.0)	2.5 (4.0)	2.7 (7.7)
	進学などの理由で活動を中止	0.7 (1.0)	0.0 (0.0)	1.4 (0.0)	1.3 (4.0)	0.0 (0.0)
	就職活動継続	80.5 (81.4)	88.9 (91.7)	81.4 (82.6)	76.3 (72.0)	67.6 (69.2)

		(社)				
		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定社数/平均		1.3 (1.2)	1.4 (1.2)	1.2 (1.2)	1.3 (1.2)	1.2 (1.1)
現在選考中の企業社数/平均		4.2 (2.9)	4.1 (3.0)	4.2 (2.7)	4.2 (2.8)	4.7 (3.6)

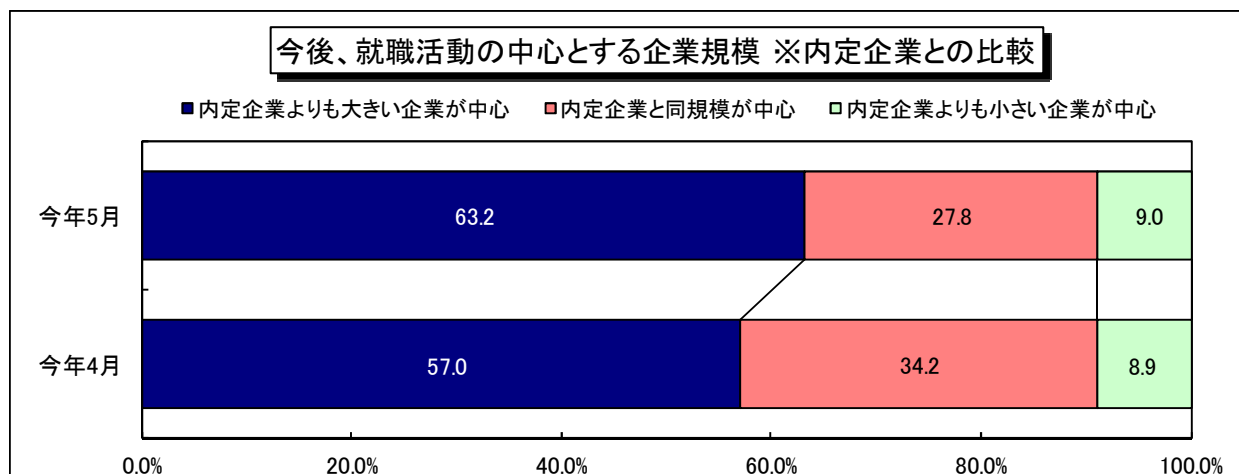
※()内は2015年の同調査での4月1日現在の数値

5月時点での内定業界 (上位5業界)

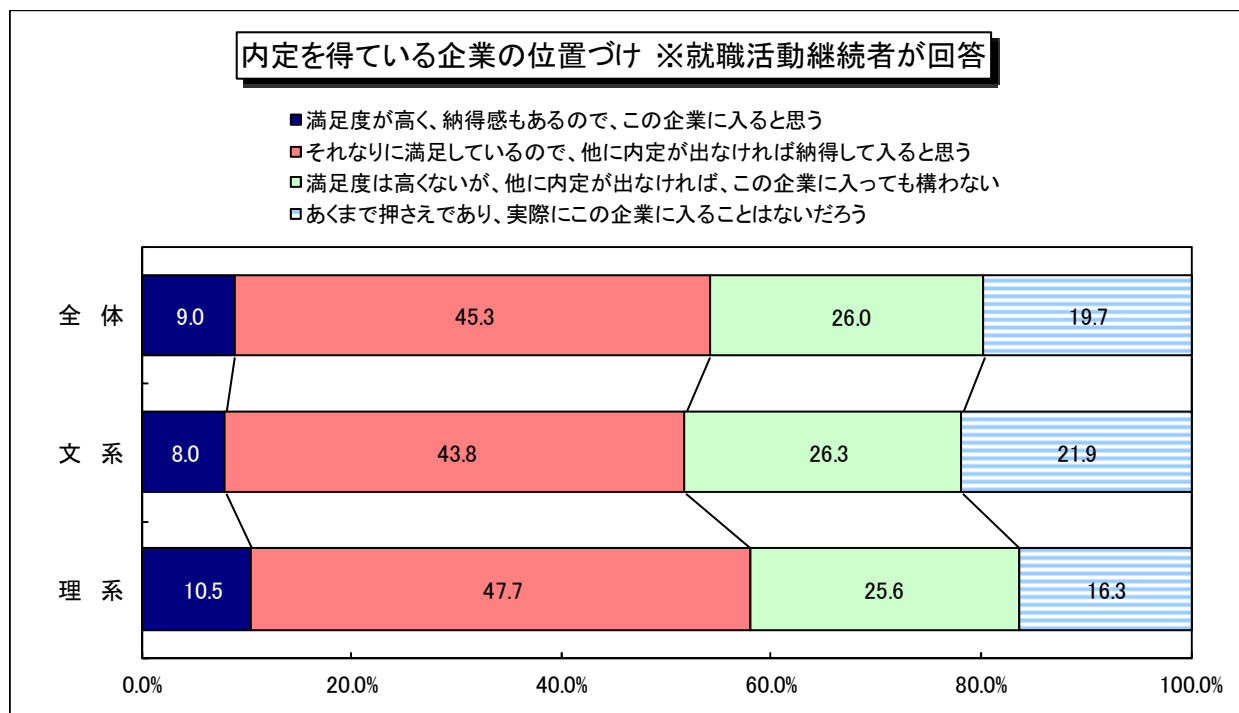
		※5つまで選択 (%)				
全 体		文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 24.5	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 28.9	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 22.9	建設・住宅・不動産 23.8	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 24.3	
2	建設・住宅・不動産 14.4	調査・コンサルタント 18.9	その他サービス 14.3	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 21.3	建設・住宅・不動産 16.2	
3	調査・コンサルタント 13.4	コンビニエンス・GMSストア 17.8	情報・インターネットサービス 11.4	調査・コンサルタント 16.3	情報・インターネットサービス 13.5	
4	情報・インターネットサービス 9.7	建設・住宅・不動産 10.0	専門店 10.0	情報・インターネットサービス 7.5	調査・コンサルタント 10.8	
5	コンビニエンス・GMSストア 7.6	情報・インターネットサービス 8.9	建設・住宅・不動産 8.6	通信関連 6.3	水産・食品 8.1	
					専門店 8.1	

7. 内定保持学生の動向

内定を持ちながら就職活動を続けている学生に、これから就職活動する上で中心とする企業について尋ね、先月（今年 4 月）の結果と比較してみた。「内定企業よりも大きい企業が中心」と答えた割合が、4 月調査では 57.0%だったが、5 月調査では 63.2%と 6 割を超えた。大手主要企業が 8 月 1 日の選考解禁をひかえている中で、学生の意識はより一層、大手企業に向いていることがうかがえる。

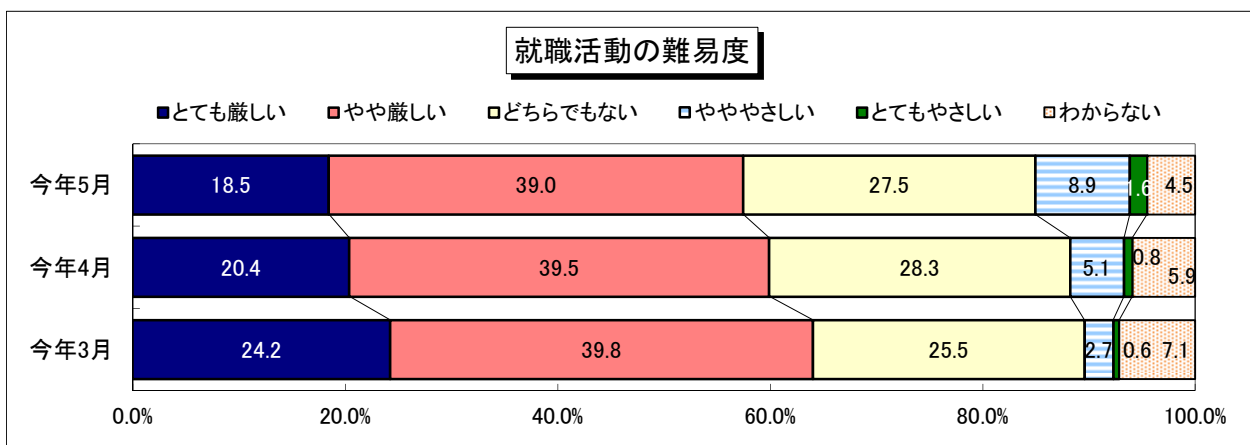


また、現在内定を得ている企業をどう位置付けているのかを尋ねたところ、「満足度が高く、納得感もあるので、この企業に入りたい」と、ほぼ入社を決めているのは 9.0%と 1 割弱。逆に、「あくまで押さえであり、実際にこの企業に入ることはないだろう」は 19.7%と約 2 割だった。「それなりに満足しているので、他に内定が出なければ喜んで入りたいと思う」45.3%、「他に内定が出なければ、この企業に入っても構わない」26.0%と、残りの約 7 割は、他社の結果次第で入社する可能性があるという回答した。



8. 就職活動の難易度

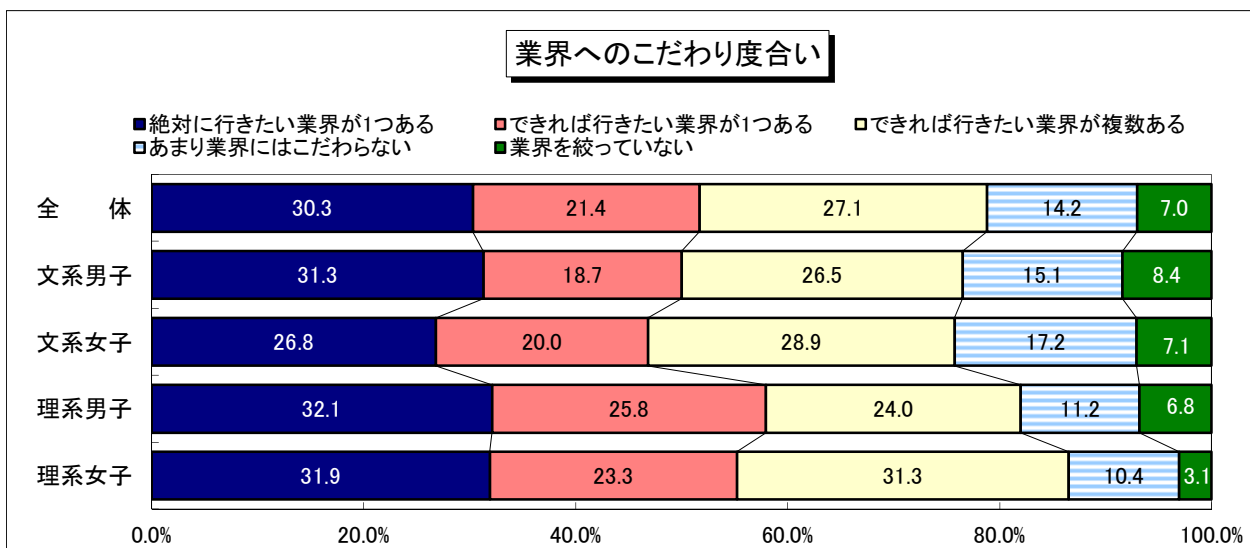
企業の採用意欲が高まり、昨年度よりもさらに「売り手市場」が加速したと言われる今年の就職戦線であるが、学生が就職活動を進めていく中でその意識がどのように変化しているかを探ってみた。採用広報活動が解禁した後、就職活動の難易度の推移を見てみると、「とても厳しい」と答えた割合は、この3カ月で24.2%から18.5%へと毎月低下している。一方、「やややさしい」と答えた割合は、2.7%から8.9%へと毎月上昇している。企業の選考活動もまだ本格化している段階ではないが、これまでのところ学生の意識としては、当初の予想よりも楽観視している様子がうかがわれる。



9. 業界へのこだわり度合い

就職活動をする上で、学生が業界に対してどの程度のこだわりを持っているかを尋ねてみた。

最も多かったのは、「絶対に行きたい業界が1つある」で30.3%を占めた。次いで「できれば行きたい業界が複数ある」が27.1%で、「できれば行きたい業界が1つある」は21.4%であった。「1つの業界」を意識している学生は過半数(57.4%)を占めており、学生はかなり就職先業界を絞り込んでいることがわかった。「あまり業界にはこだわらない」(14.2%)と「業界を絞っていない」(7.0%)は、両者を合計しても2割程度であり、少数派と言える。今後の展開次第では、現時点で「1つの業界に絞り込んでいる」学生の志向は、仇となる可能性もあるだろう。



■就職活動に関して思うこと

- 今年は多くの企業で採用人数がやや多めである印象を受けており、当初思っていたよりも、わずかにだが楽に就職活動を進められていると感じている。 <文系男子>
- 想像以上に選考が早く進むことに驚いている。時間が足りなく研究と両立させるのが難しい。また、企業ごとに差が大きいので、選考が遅いが志望度が高い企業を見られないのには少し不満もある。そういう意味ではすべての企業がなるだけ足並みをそろえてステップを進めてほしいと感じる。 <理系男子>
- 社会人から仕事についてのいろいろな意見を聞けるので、説明会をまわったり、懇談会に参加するのが楽しい。一方で、落ちてしまうことへの不安も大きい。 <文系女子>
- エントリーシートの締切も多くなり、いよいよ本格的に就職活動が始まったと実感する。 <文系男子>
- エントリーシートや面接が本格的に始まり、就職活動のやり方がだんだん見えてきたと思います。しかし、漠然とした不安をまだ拭うことができないので、これからも気を抜けない状態が続きそうです。就職活動の期間が去年に比べて1カ月長くなっているの、精神を長期間保つことがとても大切になってくると思います。 <理系女子>
- 今はまだエントリーシートの提出程度しかしていないので、挫折しておらず、様々な業種の人事の方や社員の方とお話できることを楽しく思っています。 <文系女子>
- 4月から選考が始まっている企業も多くあり、筆記試験、面接対策をしながらエントリーシートを書くことが、かなり負担になっている。また、企業による困り込みも始まっており、推薦などを断るのに罪悪感を感じている。 <理系男子>
- どこの企業も選考開始の期間がバラバラで、モチベーションが持つか不安である。 <文系男子>
- 解禁日以降に就職活動を始めた、昨年度真面目に勉強していた学生が、やや厳しい状況に立たされているのを見ると、真逆の自分としては複雑。 <理系女子>
- 3月から4月の初めまで、相当厳しくなると構えていたところがあったが、実際に始まってみるとエントリーシートが通り、ある会社ではグループディスカッションで落ちたが、ほかの会社では一次面接を通るという風に、段階を踏んで成長している感じや慣れてきている感じがするので、残りの3カ月でどれだけ自信をつけられるかがカギなんだと思い始めた。 <文系男子>
- 受りたい会社の正確な選考の時期がよく分からないこと、周りに内定が出ている人が多いことで、焦りがあります。 <文系女子>
- 私は地方なのですが、都会に何度も呼び出しておきながら交通費の支給もなく、さらに最終で落とされると、やるせなくなります。 <理系男子>
- 解禁が先延ばしされた影響で、全体的に選考がばらつき、集中しすぎないところが良い。しかし、変更に対応できていない企業も見受けられ、説明会の日程やエントリーシートの期日などを直近になって公開するのは、こちらとしてもスケジュールが組めないのが本当にやめてほしい。 <文系男子>
- 早くから準備している人と出遅れて準備していない人の差が激しい。就活の解禁を遅くしても意味がない。 <理系女子>
- Uターン就活を希望しているため交通費に莫大なお金がかかる。Uターンをする学生に補助や支援があってもいいのではないかとよく思う。 <文系女子>
- 学校が始まると学業の時間を取られるので、会社説明会にあまり行けない。文系でほとんど授業がない人と比べると不利な気がする。 <理系女子>
- 人事の方の本音が分からず、困っている。 <理系男子>
- 早く内々定をもらえて嬉しいが、他の企業の選考をやめるよう迫られて困っている。ここでやめてその企業に入るか、内々定を断って就活をつづけるか悩んでいる。 <文系女子>